

保存用

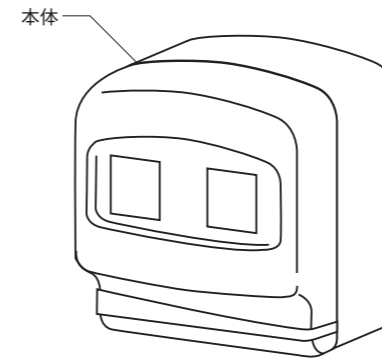
大切に保管してください。

12V照明  
**ecolt** / エコルトランス 多機能35/ボックス35      エコルトランス 多機能65/ボックス65  
 EB 11706 00/EA 11702 00      EB 11708 00/EA 11707 00

# 取付・取扱説明書

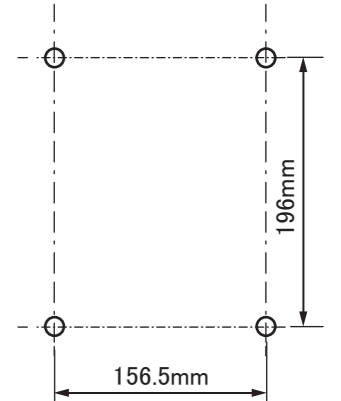
このたびは「ユニソン エコルトランス 多機能35/ボックス35」をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
 ご使用前には、この「取付・取扱説明書」をお読みの上、正しくお使いください。

## ●仕様



防水性能	防雨形	
大きさ	幅 192×高さ 232×奥行き 115(mm)	
重量	1.0kg	
入力電圧	AC100V 50/60Hz 共用	
出力電圧	DC12V	
接続容量	EB11706 00、EA11702 00	最大35Wまで
	EB11708 00、EA11707 00	最大65Wまで
電源コード	約1.0m 差し込みプラグ付	
出力端子	端子台×2系統	

**付属品**                      **用意するもの**  
 取付け用ネジ、プラグ      中空構造の壁専用金具など



## ●取り付け寸法

## ●お手入れについて

**⚠ 注意** お手入れの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因となります。

- 安全にご使用いただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)にお掃除、点検してください。
- 汚れがひどい場合は、石けんに水をひたした布をよく絞って拭きとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。丸洗いはしないでください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないでください。変質・変色・破損の原因となります。
- 器具全体を丸洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。

## ●保管・破棄

保管:保管の際は下記の要領で行ってください。

- 購入時と同じ状態で梱包してください。
- 梱包ケースは、ケースの表示に従い、正しい方向で保管してください。
- 梱包ケースの上に物を置かないでください。
- 梱包ケースに局部的な外圧をかけないでください。
- 常温(20±15℃)、常湿(65±20%)の場所に保管してください。

破棄:使用済の照明器具は、所轄の地方自治体が定めた方法に基づき、適正に処理してください。  
 なお、廃棄の際にはケガをしないよう手袋等をご使用ください。

■お問合せ・ご相談は、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●販売元

**ユニソン**

〒473-0925 愛知県豊田市駒場町藤池17番1  
 HPアドレス <http://www.unison-net.com>

本製品は中国製です。

## ●安全上のご注意

⚠ 警告	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●このトランスは交流100V専用です。それ以外の電源では使用しないでください。火災や感電の原因となります。</li> <li>●布や紙などの燃えやすいものを被せたりしないでください。また、コンセントプラグにホコリなどが付着している場合は取り除いてください。火災の原因となります。</li> <li>●電源コードやケーブルを足などに引っ掛けそうな場所に配線しないでください。また、ケーブルをそのままコンクリートへ埋めれないでください。(電線保護管による配管施工をしてください)ケガや故障の原因となります。</li> <li>●電源コードやケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。また、重いものを載せたりしないでください。コードやケーブルが損傷し、火災や感電の原因となります。</li> <li>●通電中、コードやケーブルを切断したり、短絡させないでください。ショートして火災や感電の原因となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接続する照明器具は、トランス接続容量内で使用してください。また、接続は確実に行ってください。接続容量を超えて使用したり、接続に不備があると火災の原因となります。</li> <li>●濡れた手で施工したり、差込プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。</li> <li>●本トランスは防雨形、壁面取付専用です。天井面や据え置き、傾斜面などに取り付けしないでください。火災や感電、落下の原因となります。</li> <li>●地面から約300mm以上離して取り付けてください。冠水などの時、火災や感電の原因となります。</li> <li>●商品の設置方向を守って取り付けてください。回路部分に雨水などが入ると火災や感電の原因となります。</li> <li>●ガンリンなどの引火物やガス機器などの近くで使用しないでください。爆発、火災や落下の原因となります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●製品を改造したり、部品交換をしないでください。火災や感電の原因となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●異音や臭いなど異常を感じた場合、速やかに差込プラグを抜き、工事店などにご相談ください。火災や感電の原因となります。</li> </ul>

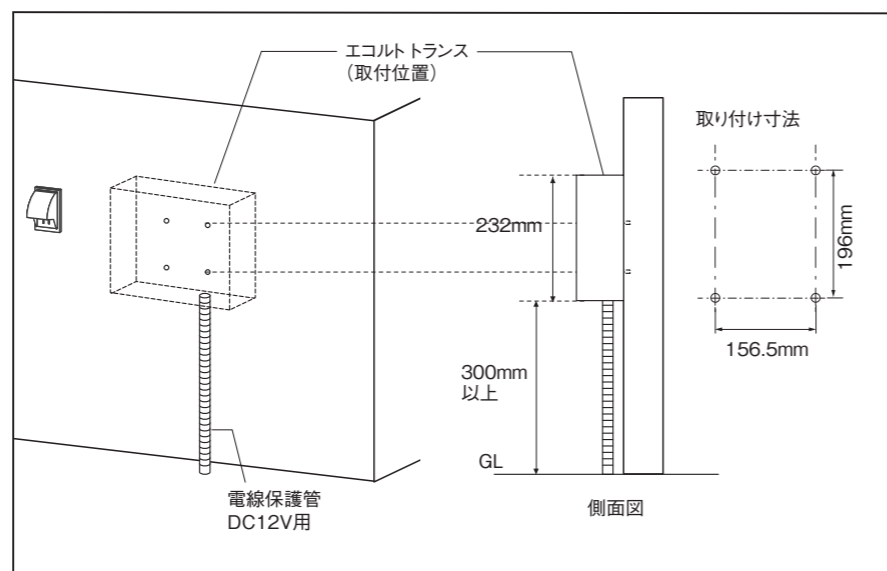
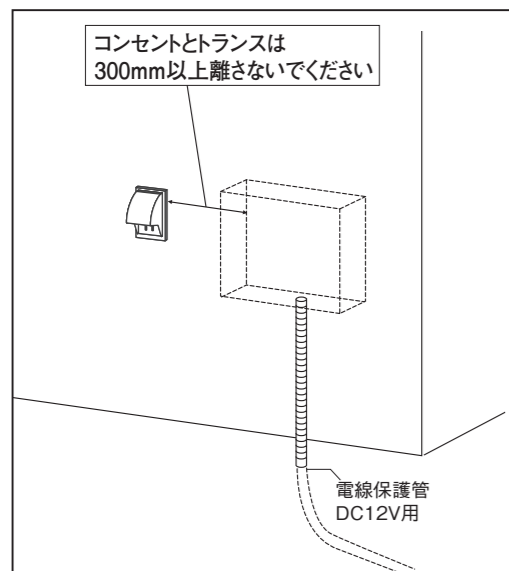
⚠ 注意	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●製品には寿命があります。外観が正常でも内部の劣化は進行しています。進行度合いは使用条件・設置場所の環境で大きく異なりますので定期的に商品の外観・動作のご確認をお願い致します。点検せずに使用するとまれに火災や感電、落下などに至る場合があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源コードやケーブルが痛んだら使用をやめ、業者に修理を依頼してください。コードやケーブルが破損し、火災や感電の原因となります。</li> </ul>

施工後は本書をお施主様へお渡しください。

# トランスの設置について

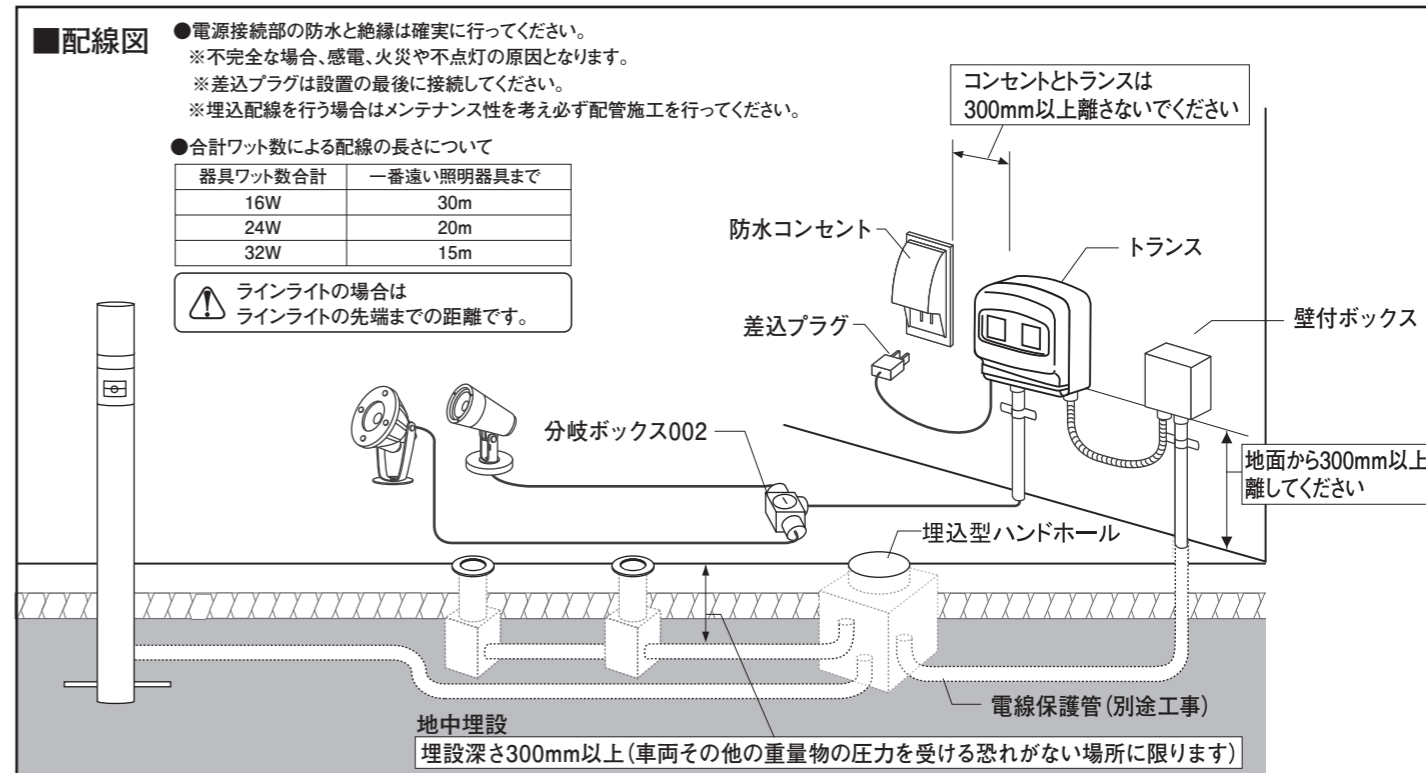
## ● 設置方法、および設置位置について

- エコルトトランス 多機能35/ボックス35を設置してください。
  - ・トランスと防水コンセントは300mm以内の場所に設置してください。300mm以上離れた場所に設置すると差込プラグの抜き差しに支障がでます。
  - ・トランスは防雨形、壁面取付専用です。天井面や地面などに据え置いたり、傾斜面などに取り付けしないでください。雨のハネ返りなどで濡れないように地面から約30cm以上離して設置してください。
  - ・光センサの反応に支障が出るような場所に設置しないでください。(エコルト照度センサ(タイマー付)を組み込んだ場合) 夜間に電灯・自販機・車のヘッドライトなどの光が当たるところは避けて設置してください。昼間に木陰など、太陽光をさえぎる物があるところは避けて設置してください。



① トランス取り付け付近へ電線保護管を設置してください。

② トランスの取り付け位置にトランス取り付け寸法を野書いた後、下穴を設けてください。  
 ※トランスの付属品(取付用ネジ、プラグ)を使用する場合は下穴の7をあけてください。その他、お持ちのネジ、プラグを使用する場合はプラグに適した下穴をあけてください。



## ● 点検について

**点灯の確認** 防水コンセント差込みプラグに接続して電源ランプが点灯するか確認してください。

点灯しない原因	対処
コネクター接続で未接触	→ 接触確認
トランスコードの接続不良	→ 接触確認

● [参照] 合計ワット数による配線の長さについて<表1>

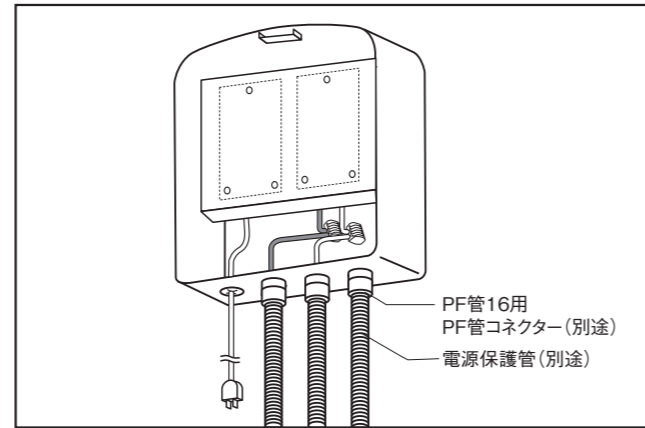
■EB 11706 00/EA 11702 00		■EB 11708 00/EA 11708 00	
器具ワット数合計	一番遠い照明器具まで	器具ワット数合計	一番遠い照明器具まで
16W	30m	16W	30m
24W	20m	24W	20m
32W	15m	32W	15m
		63W	7.5m

●点灯の確認にて各部接触不良・電球切れがなく点灯しない・暗い、あるいは点いたり、消えたりする場合は以下のような原因が考えられます。

症状	原因	対処
全て点灯しない	ブレーカーが落ちていませんか	ブレーカーを上げる
	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか	しっかり差し込む
	照度センサに照明等明かりが入っていませんか	トランス、光源の場所をかえる
	電源線・ケーブルに断線、傷などはありませんか	新しい電源線・ケーブルに変える
一部点灯しない	電源線・ケーブルに断線、傷などはありませんか	新しい電源線・ケーブルに変える
夜間に点いたり消えたりする	器具ワット数合計がトランス定格容量以上になっていませんか	接続本数を減らす
	電源線・ケーブル露出部、各接続部分などで短絡(ショート)していませんか	電源線・ケーブルを新しくする・短絡部に絶縁処理をする
消灯しない	タイマー設定モードが「常時出力ON」になっていませんか	スイッチを切り替える
	光センサーに太陽をさえぎるものがありますか	正しく作動する場所に設置しなおす
暗い	器具ワット数合計がトランス定格容量以上になっていませんか	接続本数を減らす
	ケーブル長が<表1>の範囲に収まっていますか	<表1>の範囲に収まるように設置する

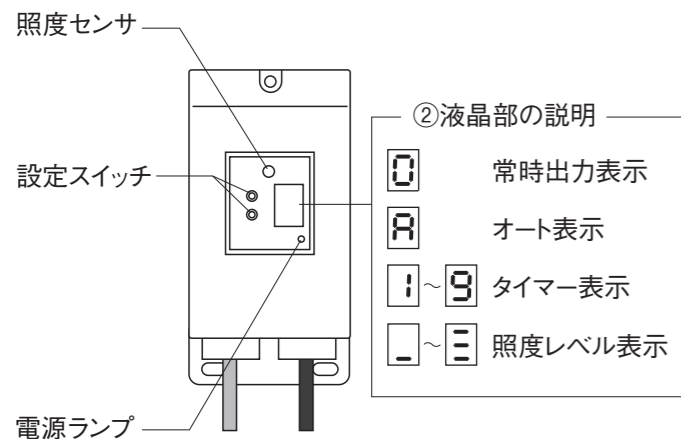
●エコルトランスに電線保護管PF16を接続する場合

1. トランス本体下部の配線穴用グロメットを取り外してください。
2. 市販のPF管16用PF管コネクターを取り付けていただくと、電線保護管PF16を接続できます。



●センサの設定

①各部の説明



①各部の説明 <表1>

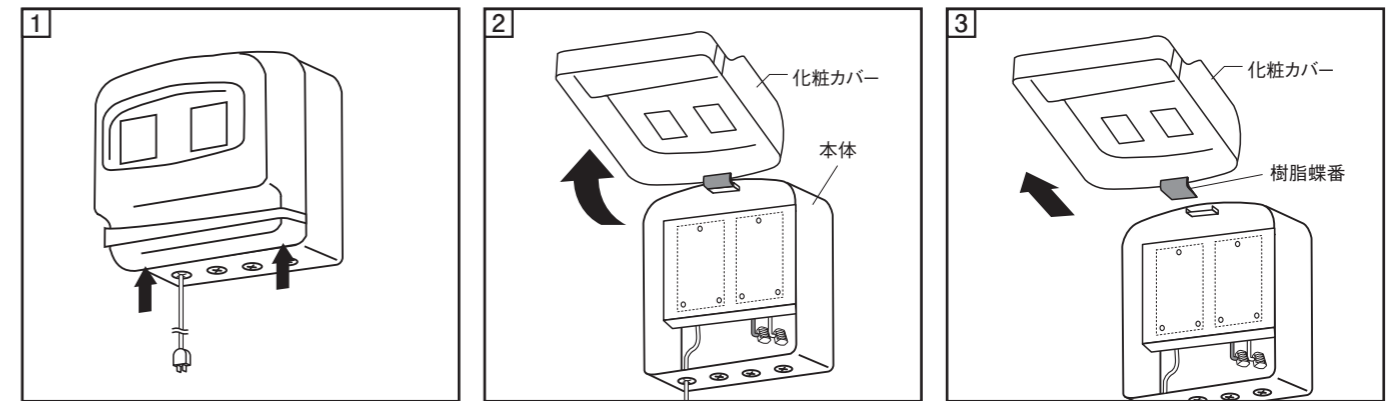
各部の名称	詳細
照度センサ	周囲の明るさに反応して、照明を暗くなったら点灯、明るくなったら消灯させます。
設定スイッチ	設定を切り替えます。切り替え内容は液晶部に表示されます。
電源ランプ	トランスにAC100Vが入力されていると赤く点灯します。

②液晶部の説明 <表2>

液晶表示	詳細
0 常時出力	屋内スイッチで点灯・消灯操作を行うことができます。
A オート	照度センサにより暗くなると照明が自動で点灯し、明るくなると消灯します。
1~9 タイマー	照度センサにより自動で点灯し、設定時間が終了すると消灯します。
1~3 照度レベル	センサの照度レベルを設置場所の明るさに応じて調整します。

●化粧カバーの取り外し・取り付け

<化粧カバーの取り外し>

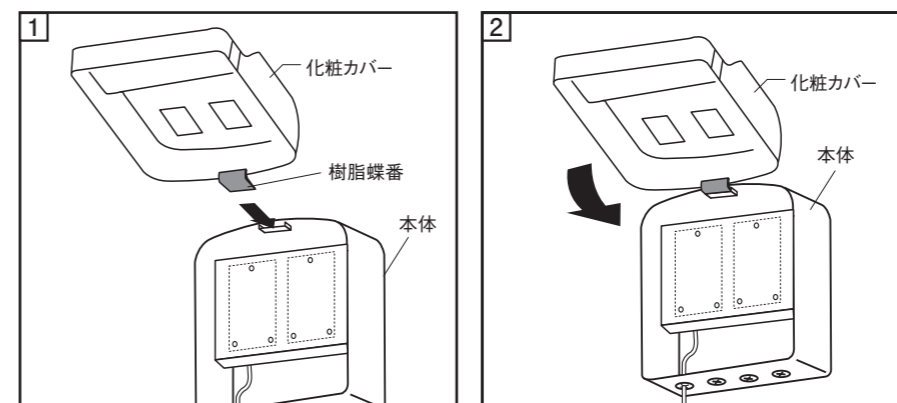


1 下部の2ヶ所を指で押えてロックを外してください。

2 化粧カバーを開けてください。

3 上部の樹脂蝶番を化粧カバーと共に本体から取り外してください。

<化粧カバーの取り付け>



1 化粧カバーの樹脂蝶番を本体上部に差し込んでください。

2 化粧カバーを閉じてください。

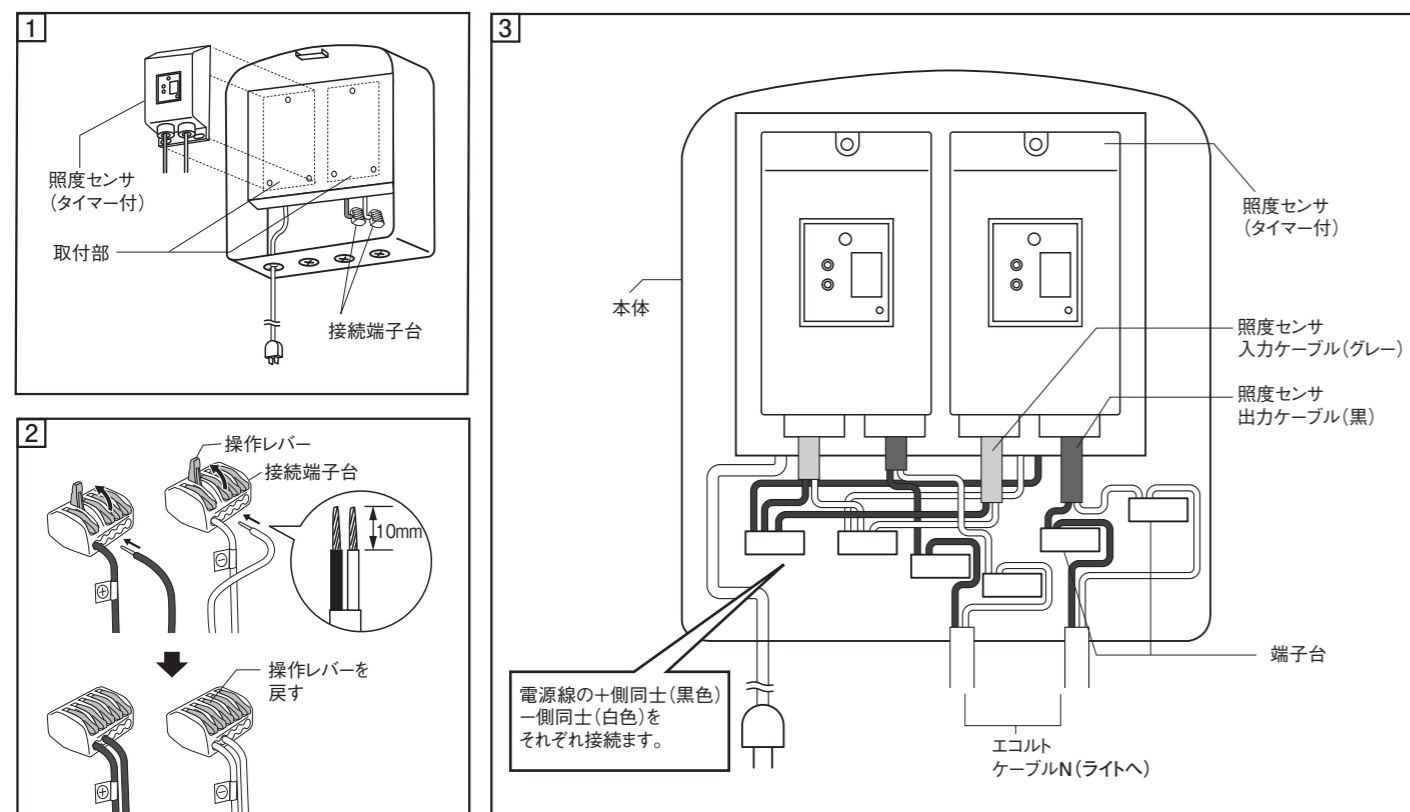


## DC12V照明の接続について

### ●2台の照度センサ(タイマー付)を取り付ける場合

※接続ケーブルはエコルトケーブルNをご使用ください。別途エコルトケーブルNの取付・取扱説明書をご覧ください。

1. トランス本体の定められた位置に、1台目の照度センサを取り付けてください。
2. トランス電源線(黒、白)に付いている端子台の操作レバーを90度起こして解除してください。
3. トランス電源線の接続端子台の+側電源線(黒線)差込み穴に照度センサ入力ケーブル(グレー)電源線の+側(黒線)の銅線を軽くねじって差し込んだ状態で操作レバーを元に戻して接続してください。  
トランス電源線の接続端子台の-側電源線(白線)差込み穴に、照度センサ入力ケーブル(グレー)電源線の-側(白線)の銅線を軽くねじって差し込んだ状態で操作レバーを元に戻して接続してください。  
それぞれの電源線を軽く引っ張り、しっかりと接続されているかを確認してください。
4. 照度センサ出力ケーブル(黒)の+側電源線(黒線)と-側電源線(白線)を、それぞれ付属の接続端子台に別々に接続してください。
5. エコルトケーブルNの電源線(黒、白)の被膜を10mmほどむいてください。  
トランス本体下側の配線穴よりエコルトケーブルNを入線してください。
6. 照度センサ出力ケーブル(黒)の接続端子台の操作レバーを90度起こして解除してください。  
照度センサ出力ケーブル(黒)の+側電源線(黒線)差込み穴に、エコルトケーブルN電源線の+側(黒線)の銅線を軽くねじって差し込んだ状態で操作レバーを元に戻して接続してください。  
照度センサ出力ケーブル(黒)の-側電源線(白線)差込み穴に、エコルトケーブルN電源線の-側(白線)の銅線を軽くねじって差し込んだ状態で操作レバーを元に戻して接続してください。  
それぞれの電源線(白線)を軽く引っ張り、しっかりと接続されているかを確認してください。  
2台目の照度センサも同様に取り付けてください。
7. 全ての照度センサを取り付けた後、化粧カバーを戻してください。(P2の化粧カバーの取付けを参照してください。)

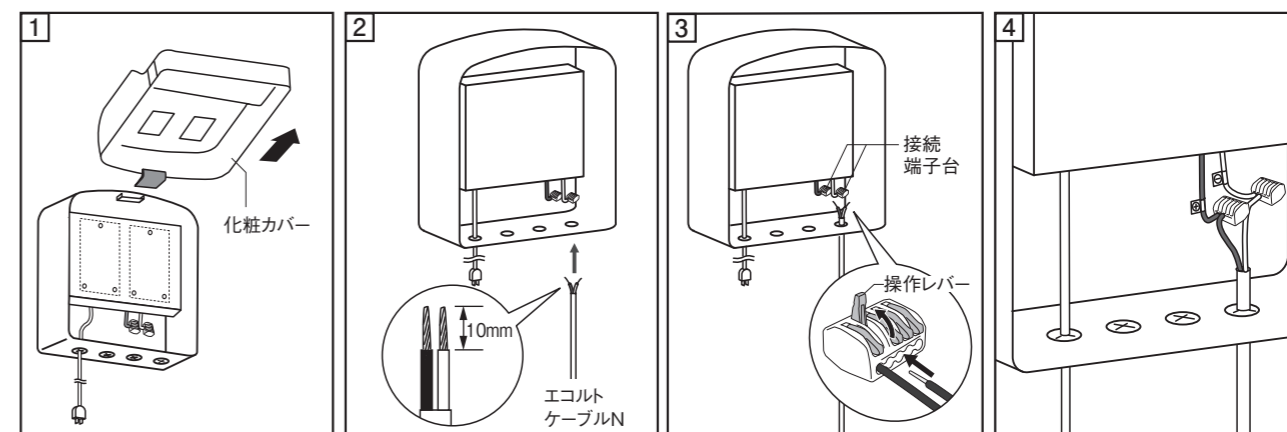


### ●照度センサ(タイマー付)を取り付けない場合

※接続ケーブルはエコルトケーブルNをご使用ください。別途エコルトケーブルNの取付・取扱説明書をご覧ください。

1. エコルトケーブルNの電源線(黒、白)の被膜を10mmほどむいてください。  
トランス本体下側の配線穴よりエコルトケーブルNを入線してください。
2. トランス電源線(黒、白)に付いている端子台の操作レバーを90度起こして解除してください。
3. トランス電源線の接続端子台の+側電源線(黒線)差込み穴に、エコルトケーブルN電源線の+側(黒線)の銅線を軽くねじって差し込んだ状態で操作レバーを元に戻して接続してください。  
トランス電源線の接続端子台の-側電源線(白線)差込み穴に、エコルトケーブルN電源線の-側(白線)の銅線を軽くねじって差し込んだ状態で操作レバーを元に戻して接続してください。  
それぞれの電源線を軽く引っ張り、しっかりと接続されているかを確認してください。
4. 接続完了後、化粧カバーを戻してください。(P2の化粧カバーの取付けを参照してください。)

※ 外部直結用のエコルトケーブルNを直接接続した場合、電源の入り切りは手元スイッチで操作するか、エコルトケーブルNに取り付ける別の照度センサによる制御が必要となります。



### ●AC100V電源線を直結する場合

※注意:AC100V接続工事は、電気設備技術基準に従って有資格者が行ってください

1. トランス本体の化粧カバーを取り外して、接続してあるコンセントプラグ付入力ケーブルを切り離し、入力ケーブルをトランス本体から引き抜いてください。(P3の化粧カバーの取り外しを参照してください。)
2. 直結する電源ケーブルの被膜を10mmほどむいて、トランス本体下部の配線穴よりAC100V電源線を入線してください。
3. トランス内部の入力ケーブルと入線した電源ケーブルを接続してください。接続部は防水端子を使用するか、自己融着テープ等で防水処理を必ず行ってください。電源ケーブルを軽く引っ張り、しっかりと接続されているかを確認してください。
4. 接続完了後、化粧カバーを戻してください。(P3の化粧カバーの取り付けを参照してください。)

